

あおぞら 29

学校教育目標 「自ら学び 心豊かでたくましい子どもの育成」

釜石市立唐丹小学校
校報 No.14
平成29年9月25日
文責 一條
TEL 55-2105
FAX 55-2107



祖父母参観日

9月20日(火) たくさんの祖父母やお家の方々をお迎えして、祖父母参観を行うことができました。

前日の台風の影響で、駐車場として使おうと思っていた校庭の入口が土砂と泥で塞がれ、急きょ盛岩寺さんの駐車場をお借りしたために、祖父母の皆様には、大変な苦勞をおかけしてしまいました。すみませんでした。階段も多く、校舎も複雑な造りをしているために、もっと学校が配慮しなければならぬと痛感させられました。

子どもたちは、大好きな祖父母の皆さまとの時間を本当に楽しそうに過ごしていました。



1年生「昔あそびをしよう」



けん玉、輪投げ、おはじき、あやとり、竹馬、だるま落としなどの遊びを一緒に楽しみました。

2年生・3年生「おもちゃをつくろう」



とんとんずもう(紙ずもう)の力士に色塗りをしたり切ったりして作り、みんなでおもちゃ対戦しました。

4年生・5年生「なべ焼き作り」



地域の手作りおやつでもあるなべ焼きを、ホットプレートを使って焼き、会食も楽しみました。

6年生「手先を使って」



りんごの皮むき、裁縫、ナイフで鉛筆削りなど細かい作業を協力して、一緒に行いました。

夢に向かって

9月22日(金) 5年生は、夢先生として、元新体操日本代表、畠山愛理さんを迎えて「スポーツ心のプロジェクト笑顔の教室」を行いました。ロンドンオリンピック、リオデジャネイロオリンピックで日本代表として活躍した畠山さんは、自己紹介の中で、リボン、フープ、ボールの演技を見せてくれました。フープやボールがまるで体に吸いついて動いているように扱ったり、天井まで投げ上げたリボンを何度も転回した後にキャッチしたり超一流の技を見せてくれたあと、運動(ゲーム)と一緒に楽しい時間を過ごしました。



運動の後は、教室で、畠山さんの競技人生の中で夢を持ったことや挫折をしたこと、挫折から立ち直ったきっかけ、そして、ついにつかんだ夢の実現などのことを話していただきました。最後に子どもたちが、自分自身の夢や夢の実現のために努力することを書いたり、発表し合ったりしました。

畠山さんは、去年のオリンピックを最後に競技生活を引退して、今は、スポーツキャスターになるという新しい夢に向かって進んでいるということも教えてくれました。みんなの夢が実現するように祈っています。

